

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 2 月 24 日

事業所名 レインボー・キッズ・クラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		学習ルームやプレイルームに分けて活動を行っています。	子ども達の利用状況に応じてスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切である	6		定員基準の配置をしています。	3, 4名配置していますが、職員が送迎に行っている時間帯に人数が少なくなってしまう事があるので、改善していきたいと思います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	室内は子ども達が理解しやすいように視覚支援を行っています。また、絨毯を敷いて転倒防止をしています。	玄関の段差については今後の改善課題です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		毎日のミーティング・毎月の会議で話し合っています。	今後も継続して行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		事業所の評価を実施し、その結果を職員全員に周知しています。	アンケート結果を真摯に受け止め、改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		ホームページに公開しています。	ホームページに結果を公表させていただきまます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	現時点では行っておりません。	今後の課題として検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		事業所内研修・外部研修を積極的に受けています。	今後も積極的に職員の資質向上を行う為の研修機会を確保していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		アセスメントを行い、ニーズや課題などを客観的に分析し、計画書を作成しています。	今後とも行うと共に、職員全員に周知し、意見交流の時間を設けていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		標準化し、独自に作成しています。	今後も継続して行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		各活動を委員会と称して職員を割り当てています。	今後も継続して行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		固定化しないようにランダムに活動予定を入れて作成しています。	今後も固定化しないように、内容を変更していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		個々にあった課題支援を行っています。	今後も継続して行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		一人一人に合わせた療育と集団活動を組み合わせ実施しております。	今後も継続して行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		支援開始前に支援内容や役割分担を確保しています。また、ミーティングでも話し合っています。	今後も継続して行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	支援終了後に職員間で気付いた点について話し合ったり、業務日誌に記入したりして共有しています。	職員の勤務により、支援終了後に行えない職員もいるので、翌日に振り返りや気付いた点を共有できるようにしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		支援経過に記録し、次につなげられるように取り組んでいます。	今後も継続して行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		職員会議で個人のケース会議をし、半年に1度モニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。	今後も継続して行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		基本活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しています。	今後も継続して行っています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	児童発達支援管理責任者が参加しています。	今後も継続して行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	行事予定や下校時間などは毎月書面やメールを通し貰っている学校もあります。連絡調整も必要に応じて行っています。	今後も継続して行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	該当者がいません	今後、必要時は主治医との連携も図っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後も必要時には情報共有や総理解を図っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後も必要時は、連携を図っていきたく思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	研修はしていませんが、必要機関と連携しています。	今後は研修も検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	現時点では実施していません。	今後、交流の場を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	現時点では参加していません。	今後、機会があれば参加していきたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	送迎時や連絡ノートを用いて、保護者とコミュニケーションを図っています。	今後も保護者とコミュニケーションを図り、共通理解を持って支援をしていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	ペアレント・トレーニングは行っておりません。	今後の課題として検討していきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	契約時に説明を行っています。	今後も契約時に説明を徹底します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	相談があった場合には、適切に対応しています。	今後も継続していきます。まだまだ不十分なことも多いため、改善を図れるよう努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	半年に1度茶話会を開催したり、保護者さんも参加できる研修会を行っています。	今後も保護者様の交流の場を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	相談があった場合には、適切に対応しています。	今後も相談に対して速やかに対応していきます。また、必要な他機関との連携も行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	毎月新聞を発行し、日々の活動の様子をInstagramで掲載しています。	今後も継続して行っています。
	35	個人情報に十分注意している	6	秘密厳守を徹底しています。	今後も個人情報の扱いについては、十分注意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	毎日の連絡ノートや送迎時に必要な情報を伝えていきます。また、懇談も必要に応じて行っています。	連絡ノートや送迎時を通じて、保護者との意思疎通を密にし、子どものニーズに添って、情報伝達の配慮を行っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	年に2回地域の方も招待してマルシェを行っています。	今後も継続して、地域の方との交流を図っていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	契約時にマニュアルの説明を行い、訓練も行っています。	今後も職員や保護者の方に周知を行っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	月に一度様々な災害を想定した避難訓練を実施しています。	今後も継続して行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	虐待防止の委員会を開き、研修も行っています。	研修会を行い、虐待防止に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1 現在、該当者はいませんが、身体拘束について研修を行い、職員に周知しています。	今後、必要時は保護者と十分に話し合い、対応させていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	契約時に確認し、アレルギーの子に関しては除去を徹底しています。	今後もアレルギーに対しての除去を徹底し、事故防止を務めていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	気付いた事はすぐに記入できるようにし、対応などを会議で話し合い職員間で情報を共有しています。	今後も職員間で共有し、事故防止に努めていきます。